

YA 通信

令和4年号

令和4年7月1日発行

富士宮市立中央図書館 **YAコーナー**

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町 13-1 電話:0544(26)5062

図書館ホームページ <http://www.fujinomialib.jp/>

上のQRコードからもアクセスできます。



もうすぐ夏休みです。みなさん、学校生活にはもう十分に慣れたことと思います。慣れてくると、今度はお悩み事があれこれと。読むと少しはこころが軽くなる（かも）しれない本を紹介します。



『完全版ピーナッツ全集 1～25』 チャールズ・M.シュルツ／著 河出書房新社

世界中で愛されるスヌーピーたちが活躍する漫画「ピーナッツ」。その全作品を初出順に収録した全集です。スヌーピーやチャーリー・ブラウン、その仲間たちが放つ言葉は、ときにとても“哲学的”です。「哲学って難しそう」って思っているひとは、ちょっと読んでみて。あなたに効いてくる言葉があるかもしれません。キャラクターグッズのスヌーピーもかわいいけど、哲学的なスヌーピーたちもいいですよ。



『ピーナッツ大図鑑』もあります。一緒に読むと、もっとピーナッツの世界を知れるよ。

『ハダカデバネズミのひみつ』 岡ノ谷一夫／監修 エクスナレッジ

魅惑のルックスに多くのひとがノックアウトされること間違いなし！謎多き珍獣・ハダカデバネズミの驚異の生態を大解剖。ハダカデバネズミの独特な姿をみていると、お悩みごとにも一瞬わすれられるかも。現在、日本唯一の飼育研究機関があるのが熊本大学です。この本を読んで、ハダカデバネズミに興味をもったひとは、志望校のひとつにしてみてもいいですよ。



ハダカデバネズミは静岡県の「体験型動物園 iZOO」(河津町)でも見られるよ。



図書館にはこんな雑誌があります！

『目の眼』 目の眼/刊（図書館では過去3年間分保存しています。）



『目の眼』って何に関する雑誌だと思いますか。なんと、骨董関係の雑誌なんです。遠い将来の趣味にするか、なが〜く続ける趣味にするか、若い頃から渋い趣味っていうのも悪くないと思います。

さあ 新しい世界のとびらを開いてみよう！

これであなたもどしよかん通

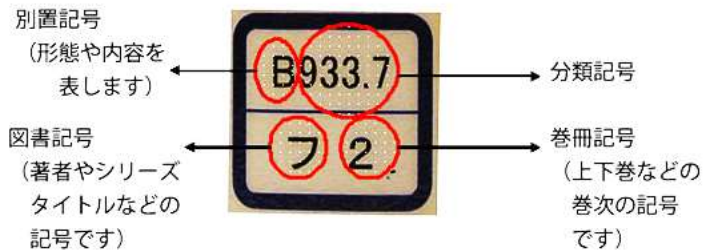


～請求記号編～

図書館の本には必ず請求記号のラベルが本の背に貼ってあります。「請求記号のラベルを制する者は、図書館を制す」と言われているとかいないとか。そこで今回は、請求記号のラベルについて紹介します。図書館の本は日本十進分類法という分類法を基に、請求記号が背ラベルに表記されています。分類記号、別置記号、図書記号、巻冊記号を組み合わせたものを請求記号といいます。

<請求記号の見方>

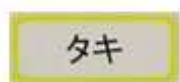
—富士宮市立図書館の場合—



紺ラベル 2 段
は一般書

ヒラオカ

紺ラベル 1 段は日本の小説 (913.6)。分類記号の表記はなく、図書記号 (著者の苗字 4 文字) で表記



黄ラベルは絵本。
図書記号 (画家の苗字 2 文字) で表記



赤ラベルは児童書

YA 担当の間では、本の葉紐を使うか、使わないかで意見が分かれました。使う派は、葉の落ちる心配がなくてよいとのこと。以前は海外旅行のお土産で葉をいただくこともあって楽しかったです。



またね♪